

卓越した課程博士論文の出版助成制度（平成30年度）

平成30年度総長裁量経費を得る予測のもとに、京都大学文学研究科における卓越した課程博士論文の出版助成事業を行います。これは、過去5年間に課程博士論文として審査された論文を対象に公募・審査のうえ、最も優れたもの数点を選んで出版助成を行うものです。文学研究科博士後期課程を修了された若い研究者の皆さんには奮って応募してくださることを願います。

記

1. 公募対象： 文学研究科に提出され、平成25年4月～平成30年3月に論文審査を終えた課程博士論文。ただし、調査委員（主査ないし副査）による推薦のあるもの。

平成31年3月31日までに出版が可能なもの

2. 出版助成金： 1件につき100万円程度（未定）

3. 申請時に提出するもの：

- 1) 完成原稿（プリントアウトしたもの） 4部

※提出いただいた書類は、本助成にかかる審査目的のみに使用します。また、審査終了後返却は致しません。

- 2) 目次 4部

- 3) 要旨（日本語4,000字程度） 4部

- 4) 論文調査委員による推薦状 1通（厳封）

※対象論文の審査年月日および学位授与年月日を第二教務掛でご確認いただき、お知らせ願います。

※1)～3)を1セットとしてファイリングいただき、論文題目と執筆者氏名を明記願います。また、できる限りPDFファイルも総務掛

(soumu@bun.kyoto-u.ac.jp)にご提出ください。

4. 申請の締切： 平成30年4月24日（火） 14時 厳守

5. 提出先： 文学研究科総務掛

6. 出版社： 各自が出版社を選んでよいが、出版契約は出版社と京都大学と著者の三者間で結ぶことになる。

7. その他： 助成採択が決定した書籍は、必ず「英文要約」を書籍の一部として製本すること。
英文要約は1,000ワード程度とし、作成については、次の2つのいずれかを選択する。

- ・著者自身で英文の要約を用意し、そのネイティブチェック費用を文学研究科が負担する。
- ・日本語2,000字程度の和文要約を用意し、ネイティブによる英訳費用を文学研究科が負担する。

いずれの方法であっても、要約の内容は、国内の関係学界のみを念頭に置いた過度に細部にわたるものではなく、海外の研究者・大学図書館関係者等の読者に向けて業績の価値が分かりやすく伝わるように配慮すること。作成された英文要約の内容については、ホームページ、KURENAI等を利用して京都大学文学研究科および京都大学の関係機関が広く外部へ発信する公衆送信権を持つものとする。

提出された原稿は、文学研究科内に審査委員会を設けて審査し、結果は平成30年5月中に発表します。

平成30年4月5日

京都大学大学院文学研究科